

6月21日

御在所岳

西川 洋

山名	御在所岳	山行名	個人山行
ルート	中登山道 → 御在所岳 → 一ノ谷新道		
山行日	2020年6月21日(日)	天候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：西川 洋      サブリーダー：木元 (男性) 中田 田中 永井 若林      4名 (女性) 大林 大西 上杉 倉光 上田 染矢 河野 玉置 伊藤(多)      9名 合計 15名参加		

<b>ルート概略図</b> 	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	中登山道 口	発 9:00	富士見岩	着 11:50
	おばれ岩	9:30	山上公園 昼食・山頂	着 12:00 発 13:10
	地藏岩	9:45	鷹見岩	13:40
	キレット	10:10	一ノ谷新道 口	着 15:15

### 山行報告

雨のため、予定が1週間伸び、また全国でコロナ感染予防での県をまたぐ外出規制が解かれ、いちどに登山客が増えた様子。駐車場を探すのにも苦労する位でした。

今回のコースは上り中登山道、御在所岳でいくつもあるコースの中で1番人気があり魅力が詰まったコースです。

登り始めて約30分で巨大な二基の墓石が傾いたようなおばれ岩、さらに15分後には地藏岩、10分進むと伊勢湾まで見渡せる素晴らしい景色、さらに15分後にはキレットがあり高度感たっぷり岩場の挑戦ができました。

下山コースは一ノ谷新道。景色はそれほど良くないのと中級者以上向きのコースなので、人は少なく歩きやすかった。ただし、岩場、下り坂、木の根もたくさんあり、疲れた体には小さな危険もあちらこちらにあり、慎重に行動する必要あり。ルート上には、鷹見岩、えびす岩、大黒岩などの奇岩があり岩との対話を楽しめました。

ロープウェイの横を通るルートなので所々で開けたところでは麓の景色とロープウェイを眺めることができます。

上りは混雑した中で3時間、下りは、岩場と急な坂道を2時間強。

木の根につまづいたり坂道で滑った位で、ヒヤリハットはなし。

ヒヤリハット：なし



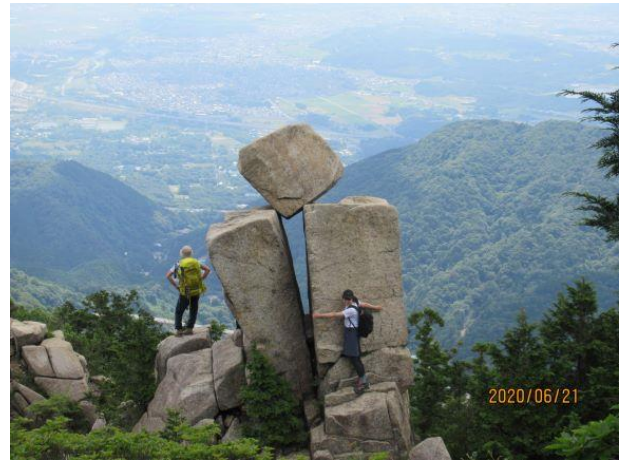
ロープウェイと御在所岳



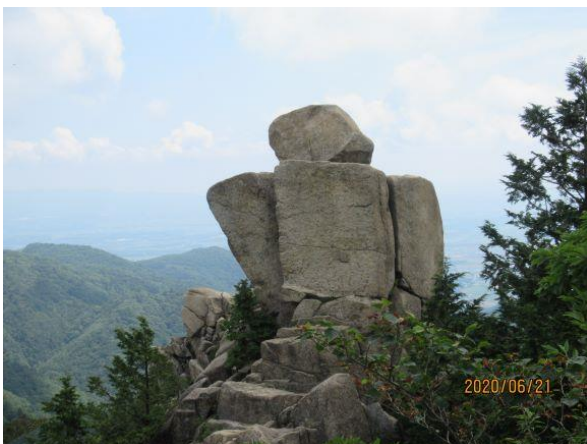
おぼれ岩



地藏岩 (一体どうやって?!)



地藏岩 (大きさはこれくらい)



地藏岩 (別の角度から)



富士見岩からの眺め





一ノ谷新道 (旧道?)



鷹見岩



全員無事下山

## 感想文

若林憲治

当初の個人山行計画は6月14日であったが梅雨のさなか雨天により21日に延期となり幸いに梅雨の合間で天気の心配は有ったがお陰で晴天の中参加する事が出来た。早朝から車3台(15名)で出発。登山口への到着が少し遅れ駐車場は何処も空きが無く辛うじて道路脇に駐車する事が出来幸い。9時00分登山開始 他県への移動も緩和され身近で人気の山でも有り小学生から年配者と幅広い方々が御在所岳登山を楽しんでおられた。

御在所岳は岩場が多く、馬の背では新高校登山部員の団体と遭遇渋滞も見られたが12時には山頂で昼食 数年ぶりに山頂の雰囲気を楽しむ事ができた。下山は難度の高い一ノ谷新道コースを選択 急下りでは有ったが其れなりに楽しむ事が出来た。ロープウエーの下を歩きながらの登山コースでロープウエーに乗れば10分足らずで到着するのにネー こんな事を考えての登山 まだコロナウイルスの影響でblankによる体力減少を解消しての登山モードでは無く、当日 筋肉痛が発生する等 まだまだ体力は完全復帰していない自分を今回の山行で体感。一日も早く通常の山行ができる日を待ち望んでいる。ご参加の皆さんお疲れ様でした。

伊藤多恵子

数か月ぶりの例会参加。県をまたいでの行き来が解禁になって初めての日曜日、しかも快晴。登山口周辺には人と車があふれかえっていた。上りの道も岩場での行き違いに時間がかかり、時々渋滞が発生。私とは言えば、歩き出してすぐにイヤな感じの汗をかいた。長く味わっていないしんどさだ。やはり東山トレイル程度のトレーニングではダメだ…それもこの1ヶ月近くは行けていない…と不安を感じながらの登高。でも、休憩の度に手作りのゼリーやサンドイッチを頂いているうちに元気を回復。仲間はずっとありがたい。雄大な景観を目にするのも久しぶりのこと。気持ちがハレバレとしてくる。下りの急坂もこたえて、何十年振りかの筋肉痛になったが、山に行ける嬉しさを思い出させてくれた一日だった。

上杉郁子

今日の山行は本当にしんどかった。もうダメ。来年の3月で会を脱会しよう。  
それにしても皆さんの元気なこと。スタスタと疲れ知らずの様子だ。何年か前にも見たサイコロの形の大きな岩が不安定の岩の上にあのときのままあった。鎌ヶ岳も遠方に見えた。やっとのことで山上公園に着いた。下りも横の根っこをつかんだり、鎖やはしご、一瞬も気が抜けなかった。  
しかし、わが家に帰ると楽しさだけが思い出される。次はどの山行にしようかなあと思う私。  
バカな私め！！ リーダーはじめ、皆さんありがとうございました。

永井繁一

御在所岳（標高 1212m:N さんの覚え方水前寺清子）の風景はテレビで毎年見ておりましたが、まさか歩いて登るとは思ってもいませんでした。山行案内では、中登山道は所々に岩場があり、裏登山道はガレ場が多いが比較的緩やかなルートとあり、山初心者の私でも登れると判断し申し込みました。

当日はコロナ自粛・移動制限解除後の日曜日。  
多くの方が山登りを切望していたのか駐車場・路肩は車だらけ、登山道も超密状態でラッシュ並みの大渋滞にびっくりでした。

何合目ぐらいかわかりませんがキレットと呼ばれる岩場に！初めての岩場で恐る恐る進みましたがすぐに慣れて、次の鎖場（かなっ？）も恐怖心なく進めました。大渋滞で前の方の動作を十分に観察できたことが、良かったと思います。



もう少し上るとテレビで見たロープウェーを眼下に収める眺望。また周辺の雄



大な山並み（山の名前は？？）最高でした。曇り空で富士見岩の名前の山が見られなかったことは残念！頂上の一等三角点は立派な基準標。

下りはガレ場？？との事でしたが木の根が足に巻き付くような高低差の大きい急降で、一段降りる毎に体重を支える足には、ボディーブローのようにダメージが蓄積し、降り切った時には足がガクガク。初心者教室の比叡山下りの急降を思い出しました。（2日間ふくらはぎがパンパン）登山口と頂上の高低差は655mほどで、愛宕山より小さいのに何でこんなにダメージあるのか……。でも、ものすごく心地よい疲れに満足！行動食含め昼食では皆さんから美味しいデザートを頂き、疲れた体に元気をもらいました。コロナ自粛でストレス一杯になった体と心を解放できた山行でした。

最後に、車出し運転者の方々や CL・SL さん、楽しい雰囲気をご参加の皆さん、ありがとうございました。

上田秀子

今年の山友会は休会することにしていましたが肩の調子も良くなってきましたので復帰することになりました。久しぶりの御在所岳に参加しました。登山口に着くと沢山の登山者で車の置くところが無いくらい混んでいました。登山道も危険な所では渋滞がおきていました。山上公園で昼食のあと頂上へは空身で登り、下りは一の谷新道を下りましたが、木の根っこが縦横に走り深い段差等、これは新道ではなくしんどい道だと誰かが言っているのを成る程と聞きながら必死に歩いていました。やっぱり山は楽しい。これからも沢山登りたいと思いました。

大西良子

久しぶりの山行、当初の予定から一週間後に変更となりましたが、梅雨の晴れ間となり山頂付近ではこちよい風を感じる程。御在所岳中登山道から入山しましたが、なんと岩の多い所だなあと、登れば上るほど奇岩が現れ岩のスケールも凄い、岩と向き合いながら何とか登り終えてほっとしました。帰りは申し訳ありませんがエスケープルートを選択させてもらいました。最後に車を出していただき運転までしていただいた方々本当にありがとうございました。

倉光展子

「御在所山」は、夏山登山に向けての訓練登山として、これまで何度となく登ったが、その都度心満たされて帰途に就いた。その中でも下記の2回の御在所山山行は特別であった。1回目は、10年前中国に赴任して1年たった夏休み、一時帰国した私に御在所山登山のチャンスが巡ってきた。赴任先は中国の東北部で、広大な平野の中に、甘南備山程度の低い山がぼつんと一つあるだけといったところだった。地元の人「四豊山」と呼んで、宗教がらみでとても大切にしていた。そこに学生たちとよく登って気分転換をしていた。しかし、やはり山としても物足りなく、自然豊かな日本の山を恋しく思っていたので、御在所山には本当に満たされた。2回目が今回である。コロナで蟄居生活が強いられ、散歩や周りの里山を歩く程度で、なにか物足りない気持ちでいた。そんな時、コロナが終息期に入って、登山も少しずつ許されるようになった。山らしい山に渴望していた時、巡ってきたのが、また御在所山登山。不思議な巡りあわせである。

下山道は中級以上のレベルということで結構厳しかった。確かに注意力を要求された。「足よりも精神が疲れた」なんて冗談をとばしたが、注意力が欠如している私にとってはいい訓練になった。

日本の変化に富んだ、美しい山に感謝、感激である。とりわけ今回、険しい環境で、根っこを複雑に隆起させて、何としても生き延びようとしている木々の奇異とも言えるその姿には、「生きる執念」を感じ、強く魅かれた。

やっぱり山はいいなー！